

⑥ 診断や治療の方針を決めるにあたって、あなた自身が一番重要と考えるもの1つに◎、二番目に重要と考えるもの1つに○をつけてください。

一番重要 二番目に重要

◎ ○

- () () 一般的な治療効果
- () () 聖路加国際病院で治療を受けた人での治療効果
- () () 一般的な合併症や副作用の発生率
- () () 聖路加国際病院で治療を受けた人での合併症や副作用発生率
- () () 提示された治療方法以外の選択肢
- () () 何もしない場合の今後の見通し

⑦ 当院での治療成績（治療効果、副作用など）を知りたいですか？

- () 知りたい () 知りたくない

⑧ 他の医療機関での治療成績を知りたいですか？

- () 知りたい () 知りたくない

⑨ 当院と他の医療機関の治療成績を比較することによって、あなた自身の考えは変わると思いませんか？

- () 変わると思う () 変わらないと思う

変わると思うと答えた方に質問します。

6. 当院の治療成績が他の医療機関より優れている場合（もっとも近いものを一つ選択してください）

- () 医療機関を変更しない
- () 他の医療機関でのセカンドオピニオンを希望する

7. 当院の治療成績と他の医療機関が同等である場合（もっとも近いものを一つ選択してください）

- () 他の医療機関に変更したい
- () 医療機関を変更しない
- () 他の医療機関でのセカンドオピニオンを希望する

8. 当院の治療成績が他の医療機関より劣っている場合（もっとも近いものを一つ選択してください）

- () 成績のよりよい医療機関に変更したい
- () 医療機関を変更しない
- () 他の医療機関でのセカンドオピニオンを希望する

- ⑩ ご自身の治療方針はどのように決定したいですか？（あるいは、決定しましたか？）
（もっとも近いものを一つ選択してください）
- 自分で情報を集め、自分自身で決定したい（決定した）
 - 担当医師・看護師からの情報をもとに、自分自身で最終決定したい（決定した）
 - 担当医師・看護師からの情報をもとに相談し、双方（自分自身と担当医師・看護師）合意のうえで決定したい（決定した）
 - 担当医師・看護師からの情報は知りたいが、担当医師に決定してもらいたい（決定してもらった）
 - 情報を提供してもら必要はなく、すべて担当医師に決めてもらいたい（決めてもらった）
 - 情報を提供してもら必要はなく、すべて家族に決めてもらいたい（決めてもらった）
 - その他 _____（具体的に記載をお願いします）

- ⑪ Quality Indicator 公開前アンケートに答えましたか？（2008年9～10月実施）

答えた 答えていない

- ⑫ 当院の公式ホームページ内の Quality Indicator サイトあるいは、がん診療ハンドブックや Quality Indicator [医療の質]を測り改善するなどの冊子/本をご覧になったことがありますか？

ある ない

- ⑬ ⑫で「ある」と答えた方は、何をご覧になりましたか？（複数回答可）

がん診療ハンドブック
 Quality Indicator [医療の質]を測り改善するなどの本/冊子
 Quality Indicator サイト（聖路加国際病院公式ホームページ）
 その他

よろしければ以下の質問にお答えください。

- ⑭ 最終学歴（もっとも近いものを一つ選択してください）

大学・大学院卒 短期大学卒 専門学校卒 高校卒 中学卒

- ⑮ 年収（世帯所得）（もっとも近いものを一つ選択してください）

300万円以下 300～500万円 500万円～1000万円
 1000万円以上

ご協力、ありがとうございました。

表 1 12 項目の Quality Indicator 一覧

	分類	指標	分母	分子	2007 年	2008 年	2009 年
1	Process	放射線治療に関する同意書発行の割合	照射実施件数	分母のうち、放射線腫瘍科の「同意・説明書」が初診日から照射実施までに作成されている件数	98.4%	98.7%	99.6%
2	Process	同意書発行から照射実施までの日数	放射線腫瘍科の「同意・説明書」が初診日から照射実施までに作成されている件数	同意書発行日から照射実施までの日数	13.3 日 (総平均)	15.1 日 (総平均)	16.2 日 (総平均)
3	Process	DCIS に対する乳房温存術後の放射線治療の割合	当院で乳房温存術施行し病理が DCIS の患者数	分母のうち、放射線治療施行患者数	85.2%	89.7%	91.9%
4	Process	化学療法に関する同意書の割合	化学療法伝票発行患者数(経口薬は除く)	分母のうち、同意書受け取り患者数	51.1%	64.0%	72.6%
5	Process	患者一人あたりの他科診察依頼の割合(入院・外来すべて)	当院の病理診断科でがんと診断された患者数	分母のうち、入院対診依頼および外来対診依頼発行件数	1.5 件	1.5 件	1.6 件
6	Process	他科診察依頼が出てから診察までの期間(入院)	当院の病理診断科でがんと診断され、かつ、入院対診依頼発行患者数	分母患者の入院対診依頼発行日から対診報告作成日までの期間	6.0 日 (平均)	10.8 日 (平均)	9.1 日 (平均)
7	Process	他科診察依頼が出てから診察までの期間(外来)	当院の病理診断科でがんと診断され、かつ、外来対診依頼発行患者数	分母患者の外来対診依頼発行日から対診報告作成日までの期間	15.1 日 (平均)	18.3 日 (平均)	14.6 日 (平均)
8	Process	緩和ケア科が関与した割合	当院の病理診断科でがんと診断されている院内死亡患者数	分母のうち、緩和ケア科への診察依頼患者数	32.4%	39.0%	42.1%
9	Process	悪性腫瘍における病理診断報告までの期間(生検)	当院の病理診断科で乳がんがんと診断された患者数	分母患者の病理オーダー発行日からレポート報告までの期間	6.5 日 (平均)	7.0 日 (平均)	7.2 日 (平均)
10	Process	悪性腫瘍における病理診断報告までの期間(手術)	当院の病理診断科で乳がんがんと診断された患者数	分母患者の病理オーダー発行日からレポート報告までの期間	12.1 日 (平均)	10.4 日 (平均)	10.5 日 (平均)
11	Process	院内死亡がん患者に対するオピオイド使用の割合	当院の病理診断科でがんと診断されている院内死亡患者数	分母のうち、オピオイド使用患者数	76.0%	84.1%	86.9%
12	Outcome	術後の在院死亡率	手術日もしくは手術翌日に病理オーダーが出ていて結果ががんであった手術実施患者数	分母のうち、死亡退院患者数	0.18%	0.69%	0.54%

1. Process: 放射線治療に関する同意書発行の割合

対象: RIS データの初診日が 2009 年 1 月から 12 月の照射実施患者

分子)分母のうち、放射線腫瘍科の「同意・説明書」が初診日から照射実施までに作成されている件数

分母)照射実施件数

$$550/552 \doteq 99.6\%$$

2. Process: 同意書発行から照射実施までの日数

対象: RIS データの初診日が 2009 年 1 月から 12 月の照射実施 552 件(同意書発行あり)

照射方針、入院、外来別に集計している。

表 2 入院外来・照射方針別の照射件数と同意書発行から照射実施までの平均日数

照射方針	照射件数(件)			同意書作成から照射 実施までの平均日数(日)		
	入院	外来	計	入院	外来	計
①対症	35	36	71	1.9	13.1	7.6
②根治	8	37	45	5.5	28.2	24.2
③術後	5	401	406	6.0	16.8	16.6
④術前	0	9	9		11.8	11.8
⑤その他	3	18	21	13.7	21.9	20.7
総計	51	501	552	3.5	17.5	16.2

3. Process: DCIS に対する乳房温存術後の放射線治療の割合

対象: 病理採取日が 2009 年 1 月から 12 月の患者

分子)分母のうち、放射線治療施行患者数

分母)当院で乳房温存術施行し病理が DCIS の患者数

$$114/124 \doteq 91.9\%$$

4. Process: 化学療法に関する同意書の割合

対象: 化学療法実施日が 2009 年 1 月から 12 月の患者

分子)分母のうち、同意書受け取り患者数

分母)化学療法伝票発行患者数(経口薬は除く)

$$482/664 \doteq 72.6\%$$

5. Process: 患者一人あたりの他科診察依頼の割合(入院・外来すべて)

対象: 病理診断日が 2009 年 1 月から 12 月の患者

分子)分母のうち、入院対診依頼および外来対診依頼発行件数

分母)当院の病理診断科でがんと診断された患者数

$$3924/2465 \doteq 1.6 \text{ 件}$$

6. Process: 他科診察依頼が出てから診察までの期間(入院)

対象: 病理診断日が2009年1月から12月の患者

分子)分母患者の入院対診依頼発行日から対診報告作成日までの期間

分母)当院の病理診断科でがんと診断され、かつ、入院対診依頼発行患者数(未返信は除く)

平均:9.1日 中央値:3.0日 最小値:0日 最大値:255日

7. Process: 他科診察依頼が出てから診察までの期間(外来)

対象: 病理診断日が2009年1月から12月の患者

分子)分母患者の外来対診依頼発行日から対診報告作成日までの期間

分母)当院の病理診断科でがんと診断され、かつ、外来対診依頼発行患者数(未返信は除く)

平均:14.6日 中央値:7.0日 最小値:0日 最大値:209日

8. Process: 緩和ケア科が関与した割合

対象: 当院の病理診断科でがんと診断された2009年1月から12月の死亡患者

分子)分母のうち、緩和ケア科への診察依頼患者数

分母)当院の病理診断科でがんと診断されている院内死亡患者数

$45/107 \div 42.1\%$

9. Process: 悪性腫瘍における病理診断報告までの期間(生検)

対象: 病理診断日が2009年1月から12月の患者

: 乳がん

分子)分母患者の病理診断報告までの日数

分母)当院の病理診断科で乳がんと診断された患者数(他院標本は除く)357人

平均:7.2日 中央値:6.0日 最小値:1日 最大値:41日

10. Process: 悪性腫瘍における病理診断報告までの期間(手術)

対象: 病理診断日が2009年1月から12月の患者

: 乳がん

分子)分母患者の病理診断までの日数

分母)当院の病理診断科で乳がんと診断された患者数(他院標本は除く)719人

平均:10.5日 中央値:10.0日 最小値:3日 最大値:29日

11. Process: 院内死亡がん患者に対するオピオイド使用の割合

対象: 当院の病理診断科でがんと診断された2009年1月から12月の死亡患者

分子)分母のうち、オピオイド使用患者数

分母)当院の病理診断科でがんと診断されている院内死亡患者数

$93/107 \div 86.9\%$

12. Outcome: 術後の在院死亡率

対象: 手術日が 2009 年 1 月から 12 月の患者 ※手術日から退院日(死亡日)まで最大 365 日

分子)分母のうち、死亡退院患者数

分母)手術日もしくは手術翌日に病理オーダーが出ていて結果ががんであった手術実施患者数

$$10/1849 \approx 0.54\%$$

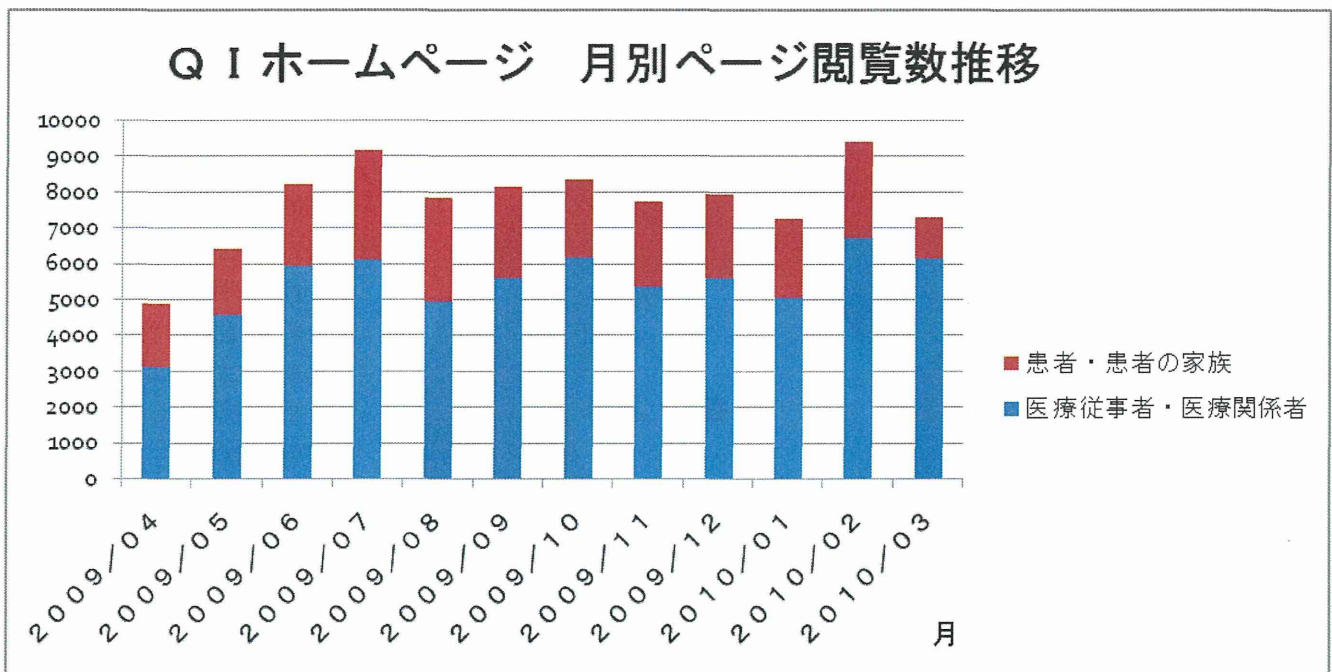


図 5 月別 Quality Indicator ホームページ閲覧数

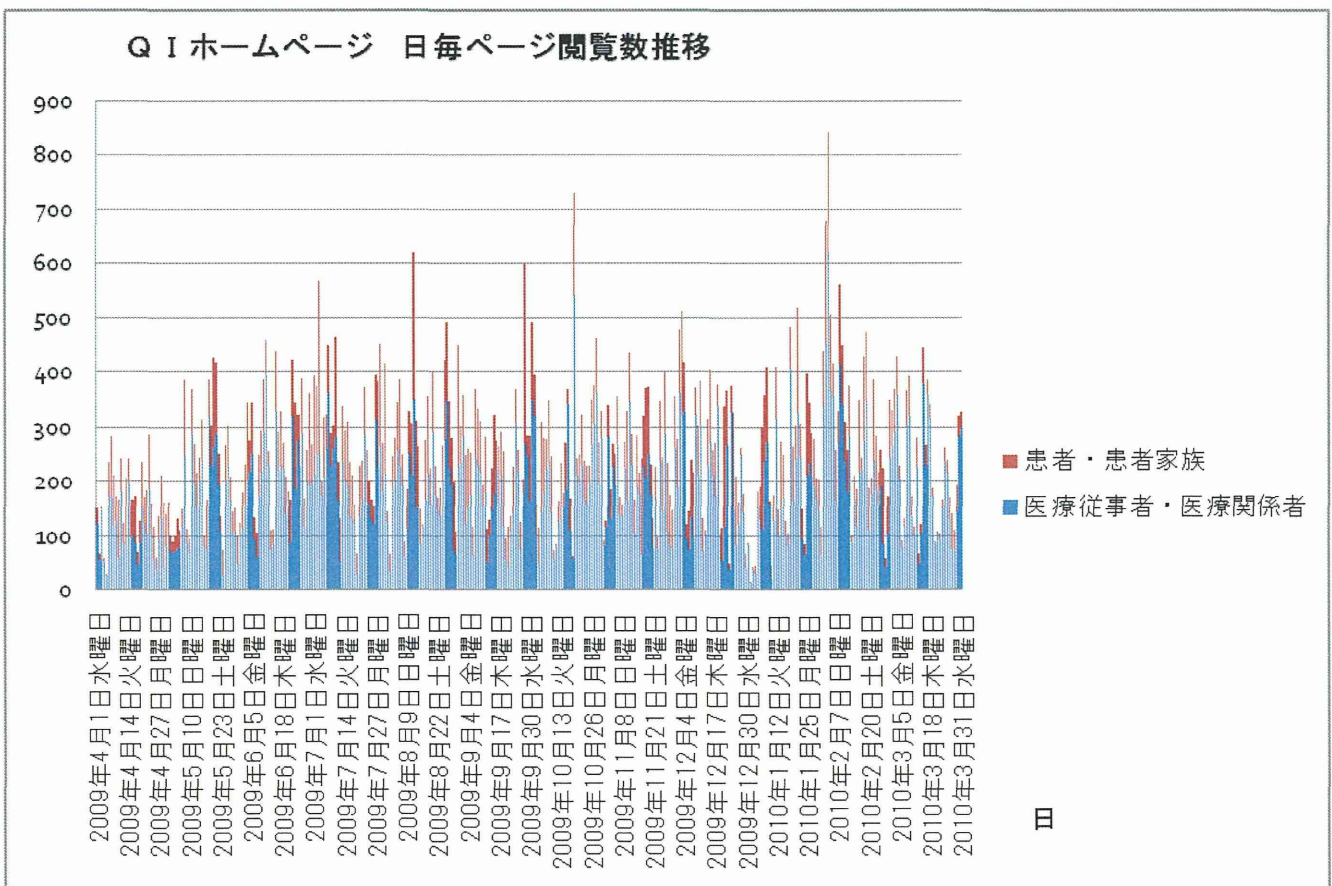


図 6 日ごとの Quality Indicator ホームページ閲覧数

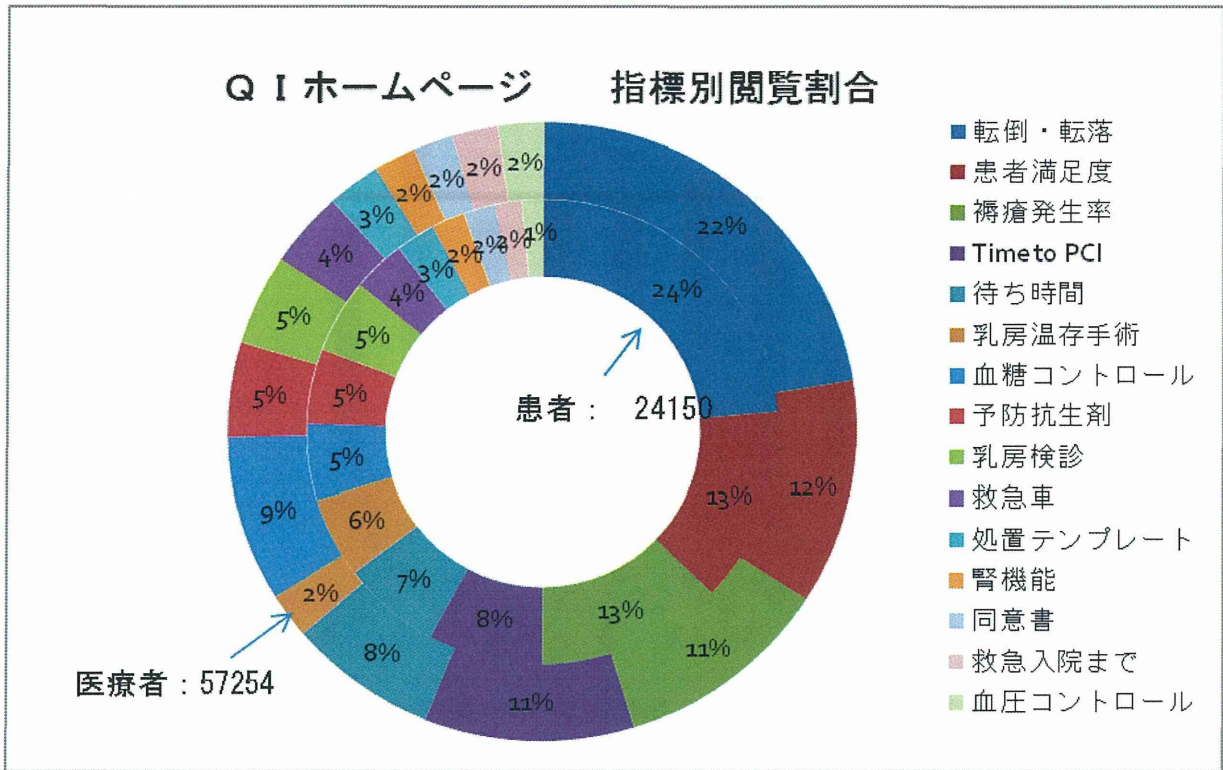


図 7 Quality Indicator ホームページ 指標別閲覧割合

医療者対象アンケート（全体）

表 3 アンケート回答者情報

年齢	臨床経験	男性	女性	総計
20-29 歳	5 年未満	16	26	42
	5-9 年	2	11	13
計		18	37	55
30-39 歳	5 年未満	5	3	8
	5-9 年	8	22	30
	10-14 年	10	22	32
	15-19 年		1	1
計		23	48	71
40-49 歳	10-14 年	2	2	4
	15-19 年	5	11	16
	20 年以上	8	7	15
計		15	20	35
50-59 歳	20 年以上	16	3	19
計		16	3	19
60 歳以上	20 年以上	4	1	5
計		4	1	5
総計		76	109	185

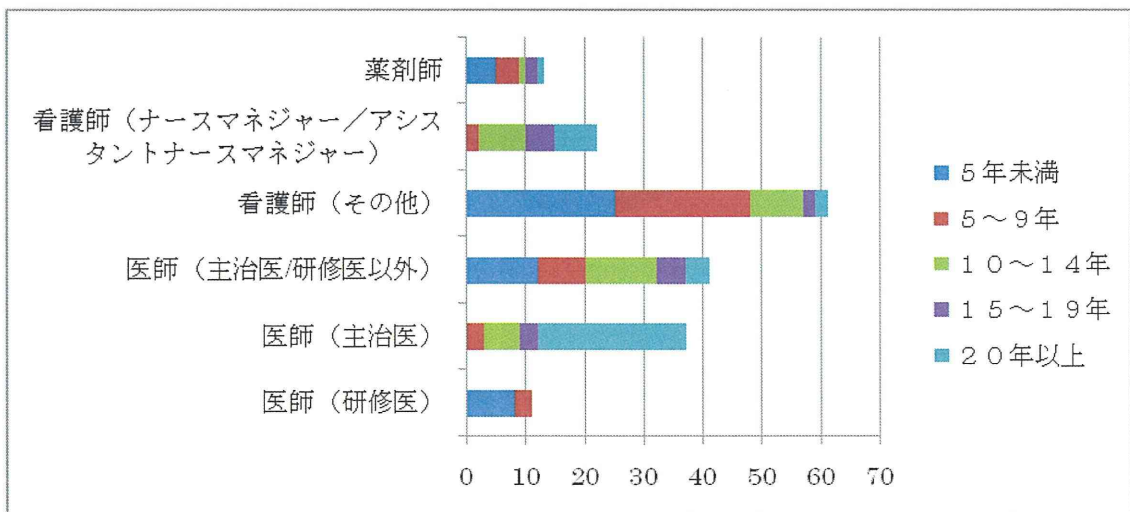


図 8 回答者の職種・職位と臨床経験

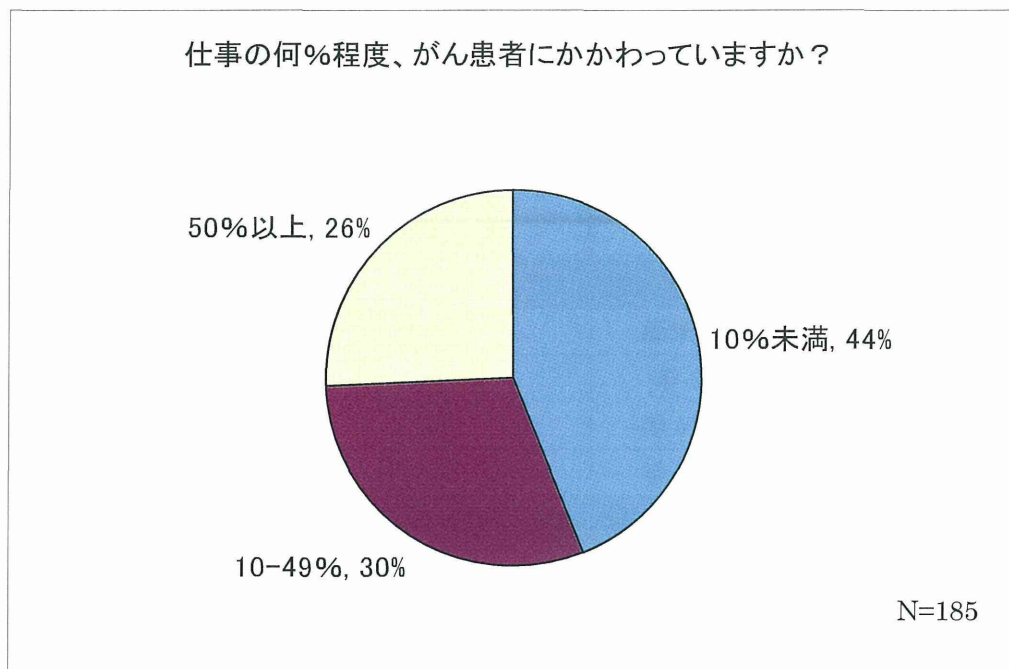


図 9 業務上、がん患者にかかわる割合

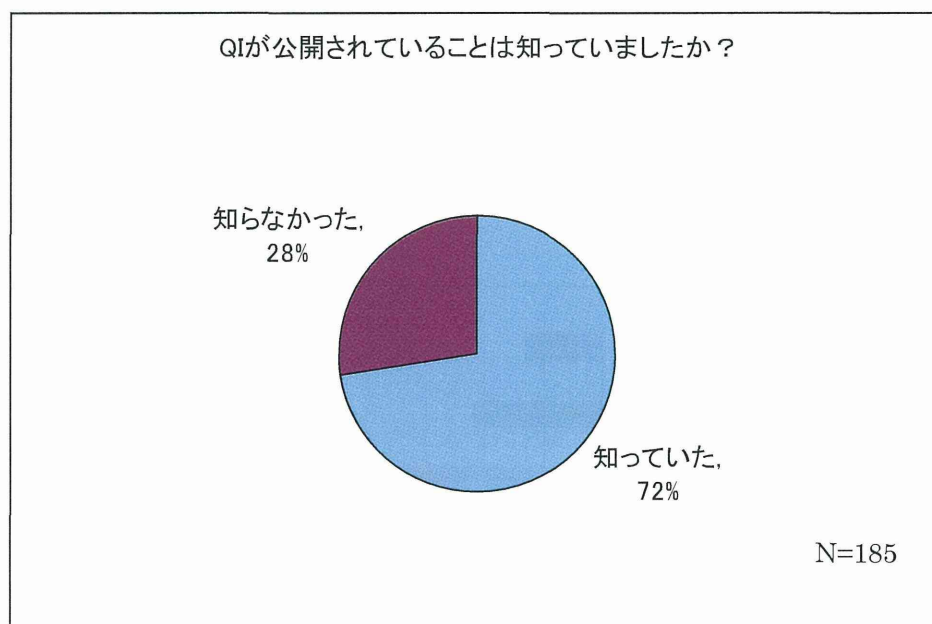


図 10 Quality Indicator の公開を知っているかどうか

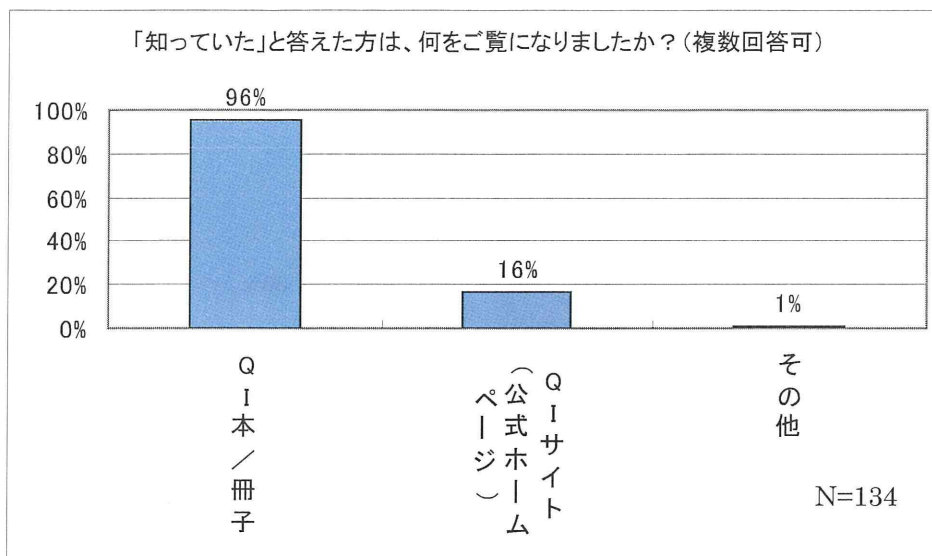


図 11 見たことのある Quality Indicator (本、サイト等)

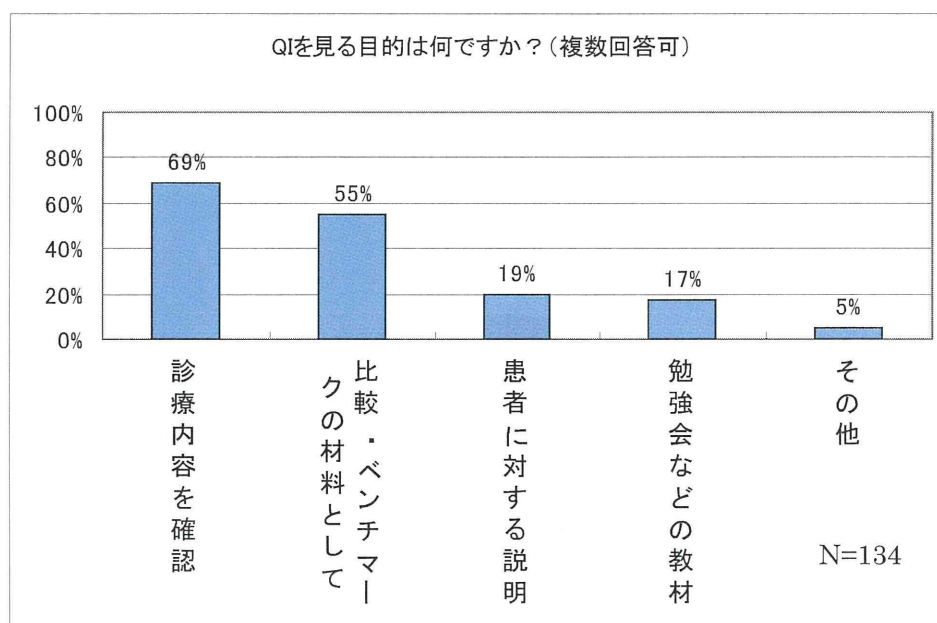


図 12 Quality Indicator を見る目的

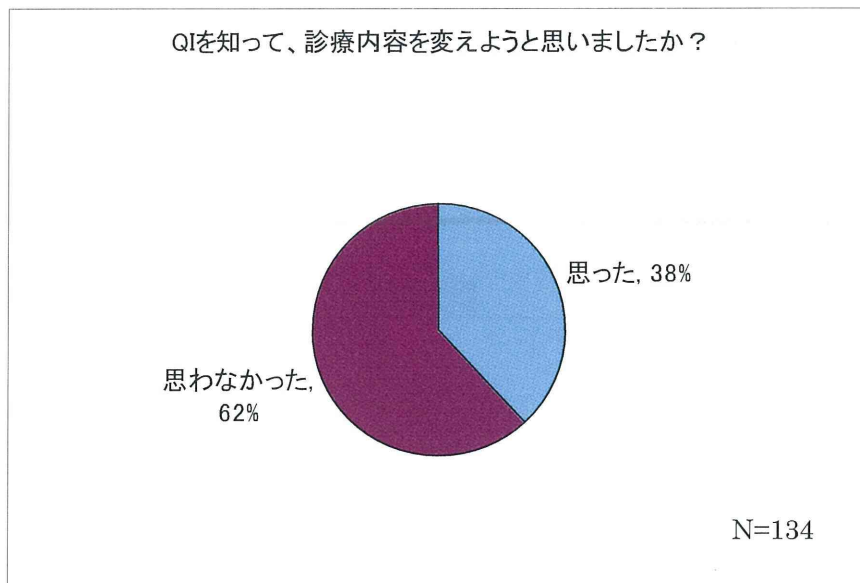


図 13 Quality Indicator を知って、診療内容を変えようと思ったか

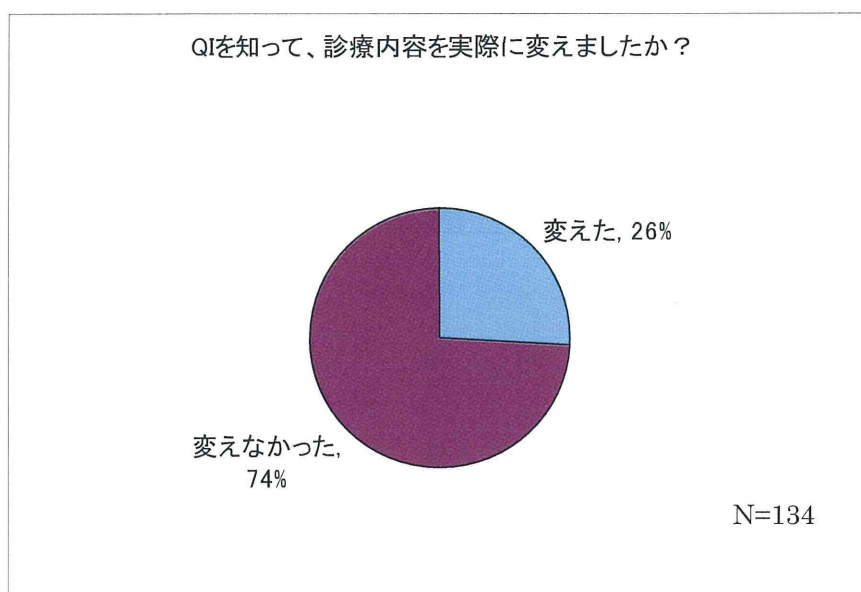


図 14 診療内容の変化

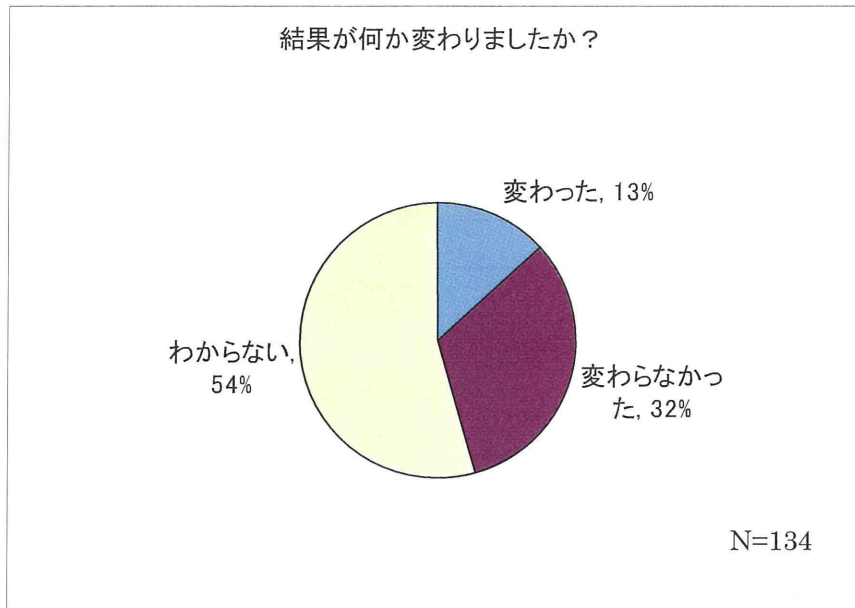


図 15 結果への影響

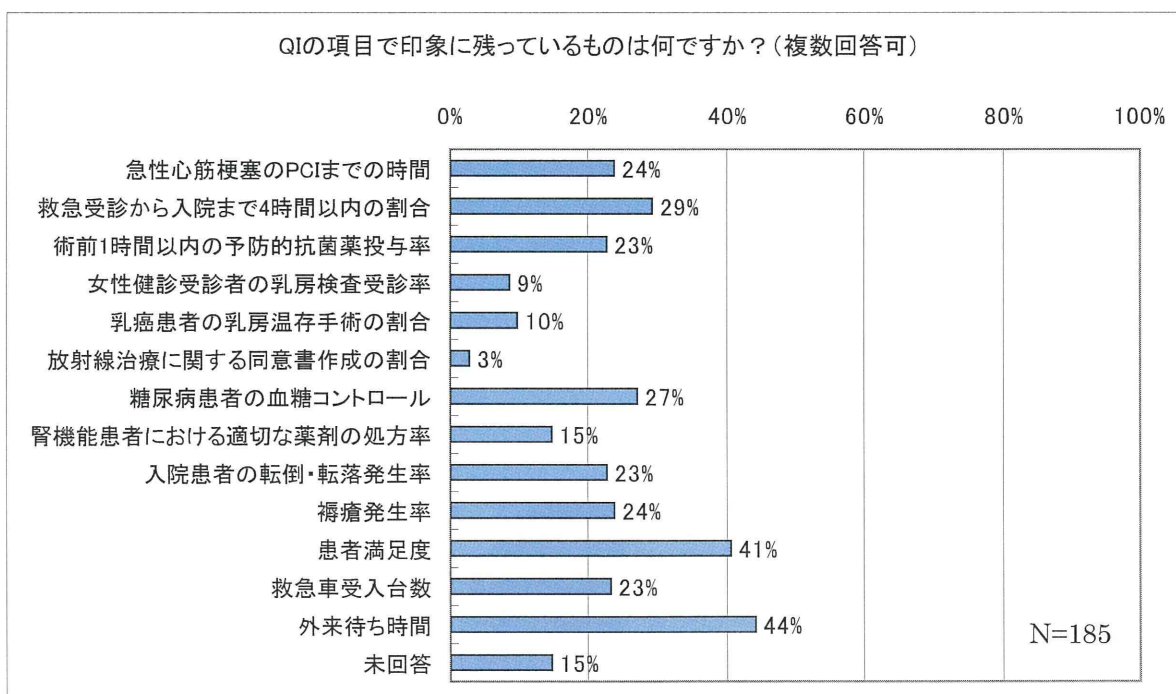


図 16 Quality Indicator の中で印象に残っているもの

医療者対象アンケート（医師）

表 4 アンケート回答者情報（医師）

年齢	臨床経験	男性	女性	総計
20-29 歳	5 年未満	12	3	15
	5-9 年	1	1	2
計		13	4	17
30-39 歳	5 年未満	5		5
	5-9 年	7	5	12
	10-14 年	9	7	16
計		21	12	33
40-49 歳	10-14 年	2		2
	15-19 年	4	4	8
	20 年以上	7	1	8
計		13	5	18
50-59 歳	20 年以上	16	1	17
計		16	1	17
60 歳以上	20 年以上	4		4
計		4		4
総計		67	22	89

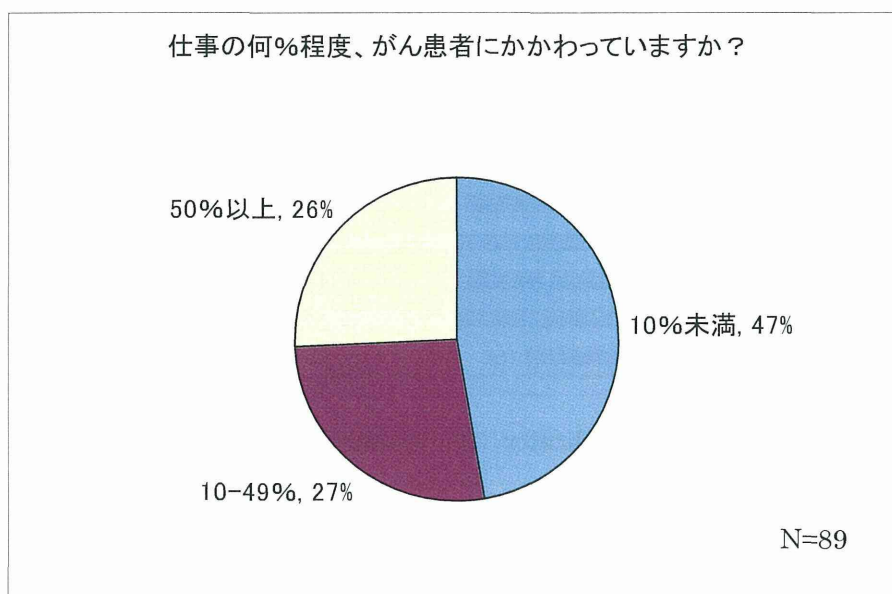


図 17 業務上、がん患者にかかわる割合（医師）

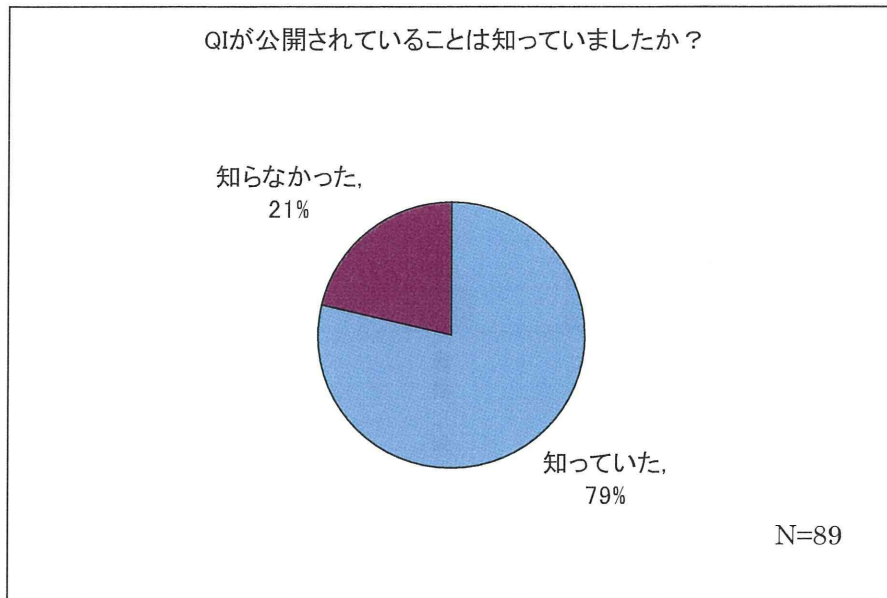


図 18 Quality Indicator の公開を知っているかどうか (医師)

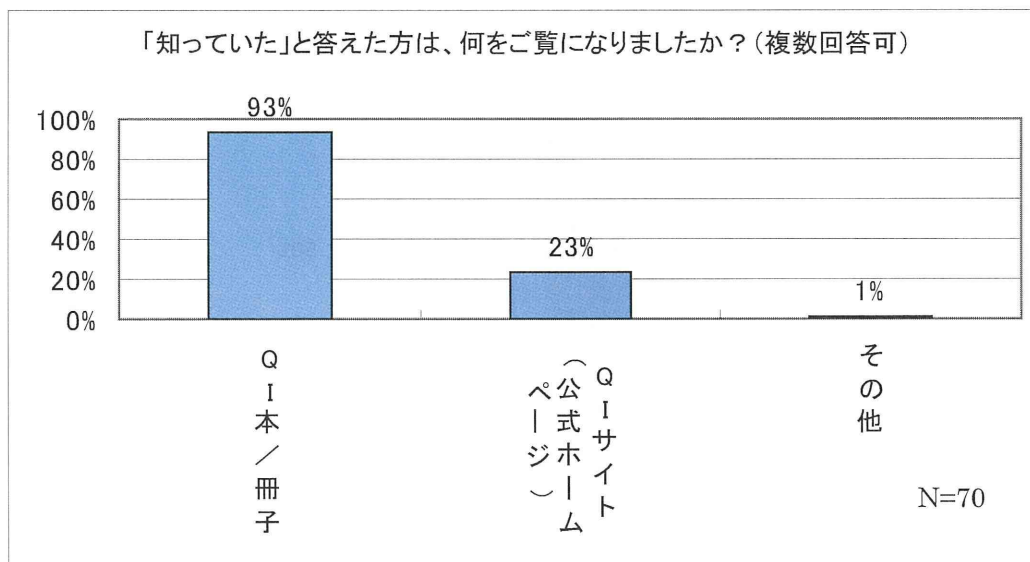


図 19 見たことのある Quality Indicator (本、サイト等) (医師)

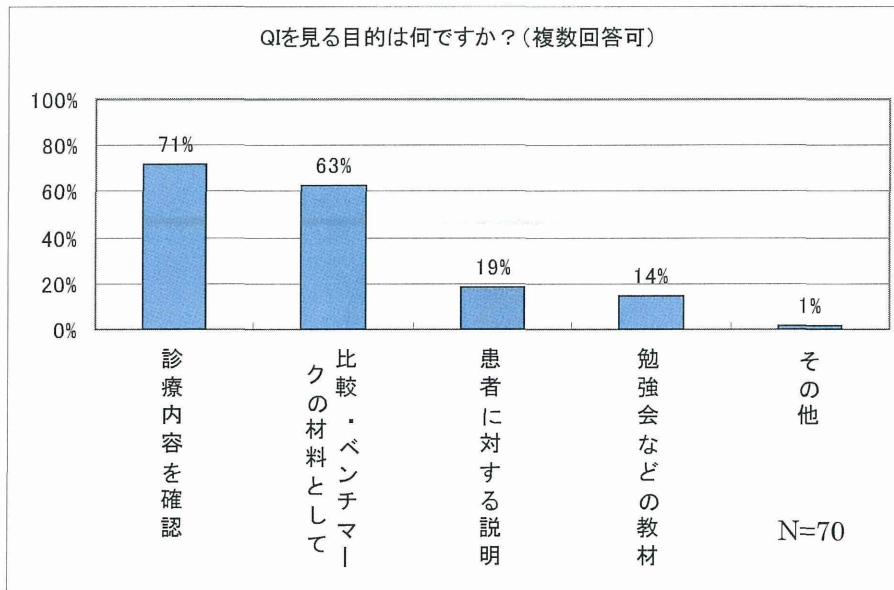


図 20 Quality Indicator を見る目的 (医師)

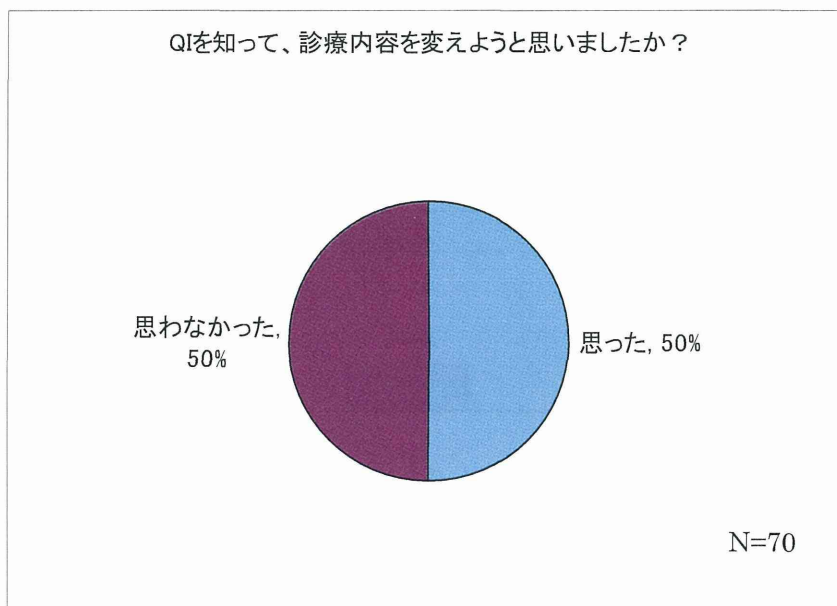


図 21 Quality Indicator を知って、診療内容を変えようと思ったか (医師)

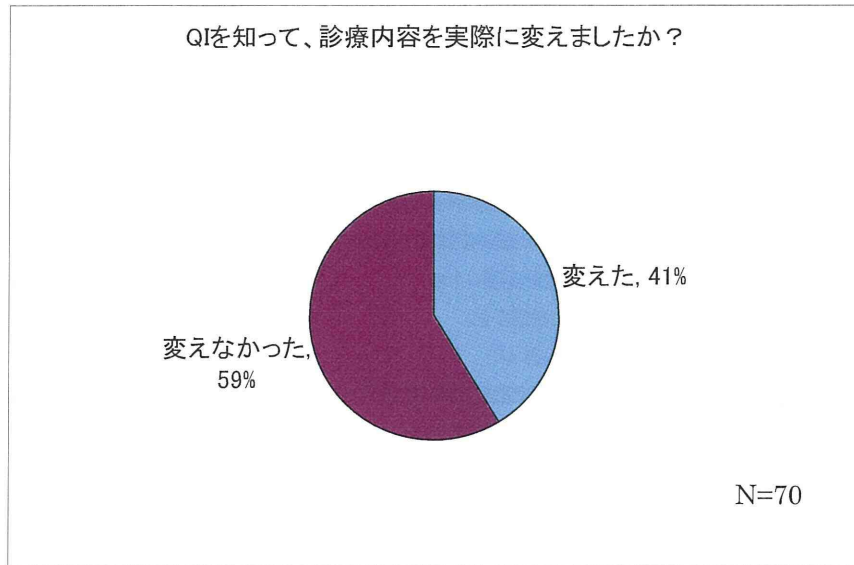


図 22 診療内容の変化（医師）

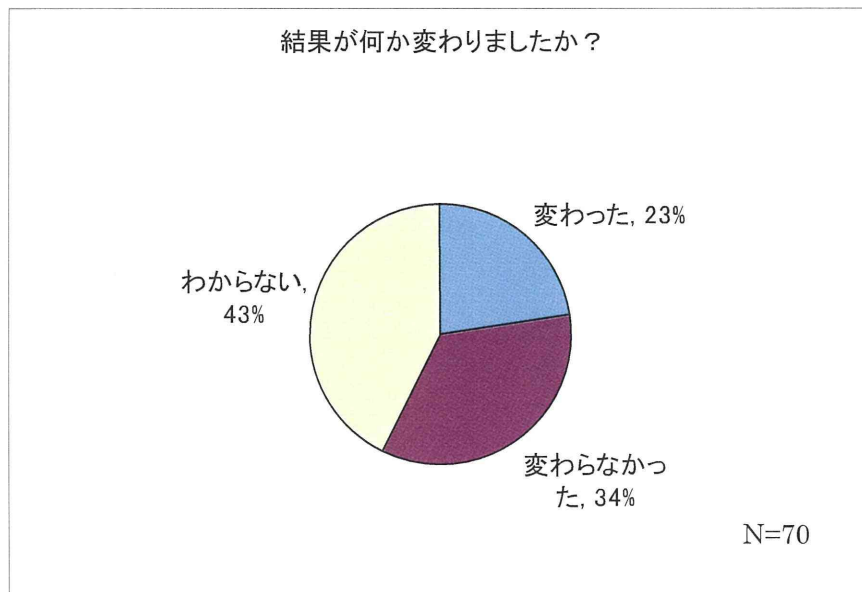


図 23 結果への影響（医師）

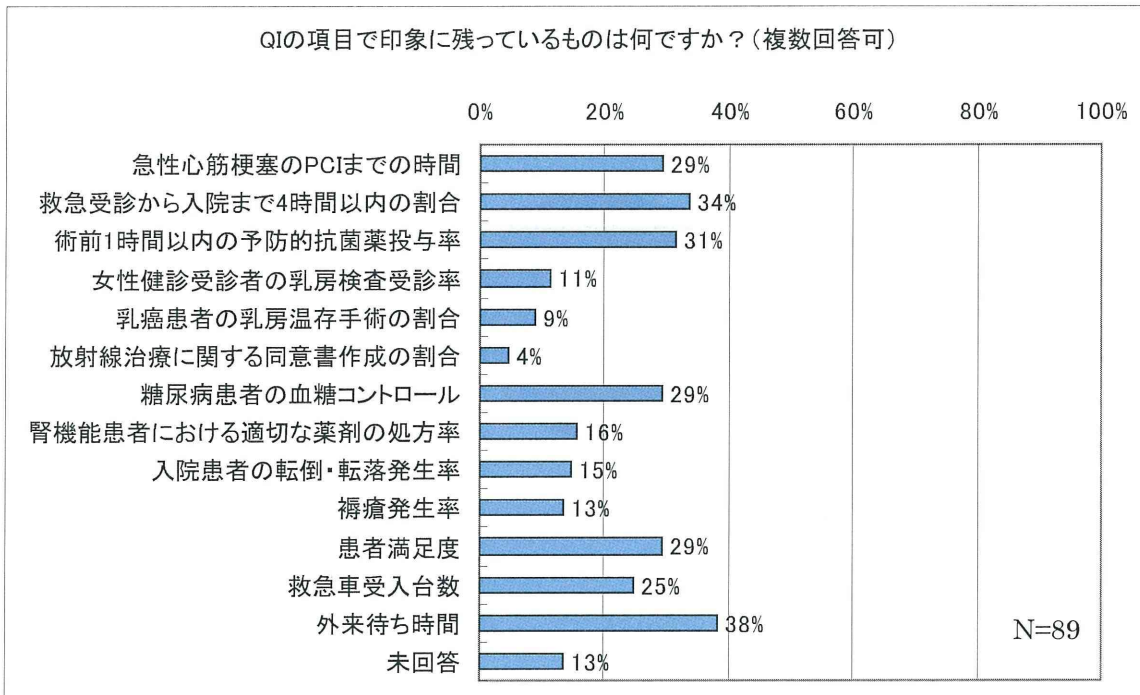


図 24 Quality Indicator の中で印象に残っているもの（医師）

医療者対象アンケート（看護師）

表5 アンケート回答者情報（看護師）

年齢	臨床経験	男性	女性	総計
20-29 歳	5 年未満	1	21	22
	5-9 年	1	9	10
計		2	30	32
30-39 歳	5 年未満		3	3
	5-9 年		15	15
	10-14 年		15	15
	15-19 年		1	1
計			34	34
40-49 歳	10-14 年		2	2
	15-19 年		6	6
	20 年以上		6	6
計			14	14
50-59 歳	20 年以上		2	2
計			2	2
60 歳以上	20 年以上		1	1
計			1	1
総計		2	81	83

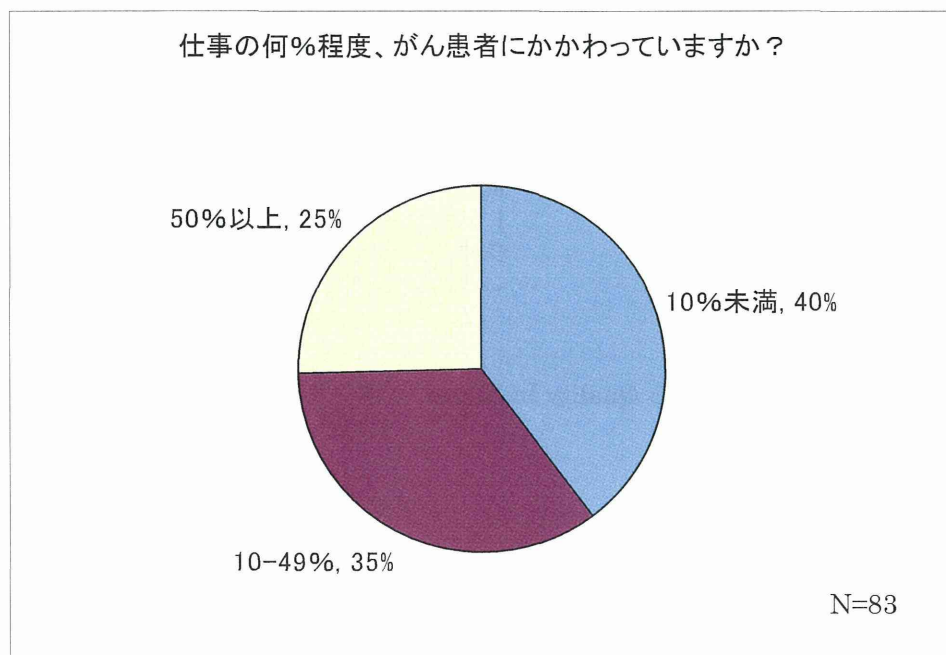


図 25 業務上、がん患者にかかわる割合（看護師）

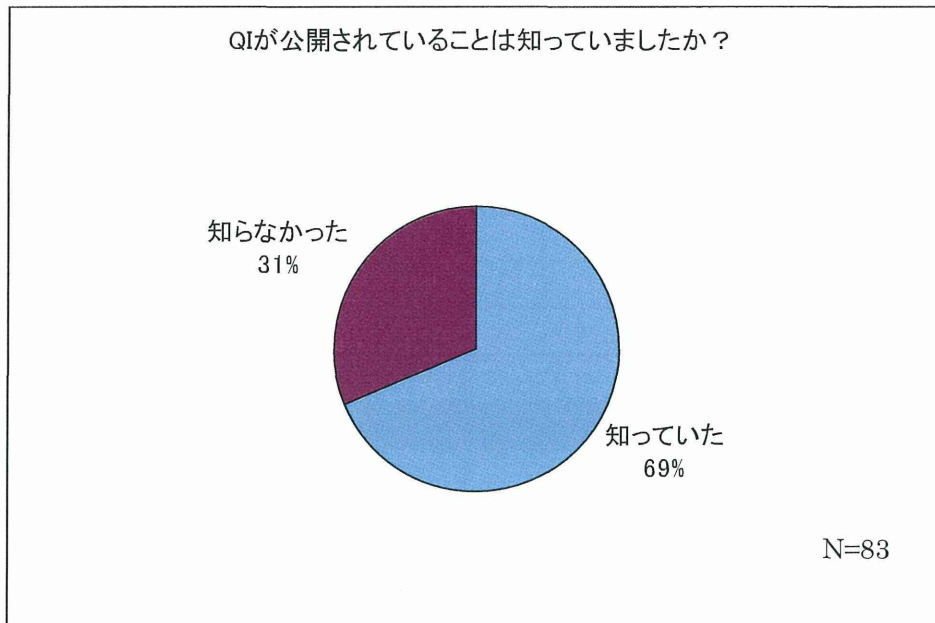


図 26 Quality Indicator の公開を知っているかどうか (看護師)

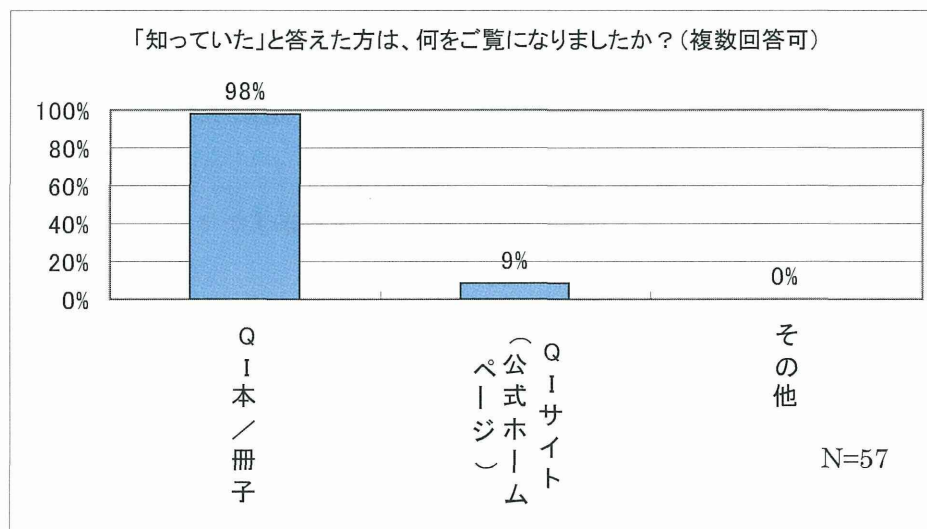


図 27 見たことのある Quality Indicator (本、サイト等) (看護師)